

League communication EHIME

[発行所]

愛媛県看護連盟

松山市道後町2丁目11-14

TEL(089)923-1595

発行責任者 吉田 昭枝

連盟通信 えひめ



仕事にやりがい
 人生に生き甲斐
 看護にたかがい!
 だいじなみらい。つくりたい!



たかがい恵美子
 決起大会を
 5月1日(日) 10時～
 (公社)愛媛県看護協会
 看護研修センターにて
 開催します。
 ぜひご参加ください。



第24回 参議院議員選挙に
 たか がい
 高階恵美子

新年のごあいさつ



愛媛県看護連盟会長

吉田 昭枝

みなさま、新年おめでとうございます。

日頃より連盟活動にご理解、ご尽力頂きありがとうございます。感謝申し上げます。

超高齢・多死社会を迎えた時代、地域社会の保健医療福祉を担うのは私たち看護職です。看護職が一丸となって「予防し、治し、支える」看護を実践する。そのためには看護の代表からしっかりと現場の声を届けていただく必要があります。

さて、2016年(平成28年)は「申」年です。干支の十二支は、その昔、農業に利用され農作物の生育に関わる暦として利用されていました。「申」はその9番目です。

意味を調べますと、「申」は伸すの意味。草木が十分伸びきった時期で、実が成熟して香りと味が備わり、固く殻に覆われていく時期だそうです。

今年は参議院選挙の年。高階議員にとって何とも縁起がいい年ではありませんか。

草木が伸びる ⇒ 高階議員の票が伸びる。実が成熟する ⇒ 皆様の選挙活動が実を結ぶ。7月の選挙はすぐそこです。皆様の今の力を継続し大きな実を結びましょう。



日本看護連盟会長

草間 朋子

新春のお慶び申し上げます。

年頭にあたり、看護連盟の組織力強化に向けて全力投球していく所存であります。会員一人ひとりのみなさまの元気とやる気が連盟の活力の源です。社会を動かすことができる強くて活動的な「看護連盟」を目ざしてまいりますので、改めて、会員のみなさまの、なお一層の、ご協力よろしく申し上げます。

「少子超高齢社会」という言葉を耳にしないあるいは目に触れない日がないほど、日本の高齢化は急速に進んでおります。超高齢社会であることは避けて通ることができません。

超高齢化を迎えたこれからの日本の「予防し・治し・支える」保健医療を担っていくのはまさに看護職です。私たち看護職の活動を通して、明るく、住みやすい超高齢社会をつくっていかうではありませんか。

7月には参議院選があります。「ベッドサイドから政治を変える」のスローガンの下、「看護が、たかがいが、やりがい、いきがいのある社会をつくる」を旗印に、会員のみなさまの力を結集し、一丸となって、たかがい恵美子先生を2期目の参議院議員として国会に送り、明るく元気な超高齢社会の構築に向けた看護政策の実現のために、思う存分、羽ばたいていただきますよう。

公益社団法人
愛媛県看護協会会長

大西 満美子

新年、明けましておめでとうございます。皆様お揃いでよいお年をお迎えのことと思います。

さて、昨年、新たな財政支援制度(各都道府県に基金を設置)が創設されたことすでに皆様ご承知のことですが、看護関係の事業のほとんどがこの基金の中で行われることとなりました。看護の職能団体として、県内の看護職の課題を明確にし、社会の変化に対応した確固たる目的のもとで事業を展開していかなければならないと強く強く感じているところです。県内看護職の課題解決への努力をしておりますので、ご協力・ご支援よろしく願いいたします。

さて、今年の干支は申(さる)年です。申と言えば日光東照宮の三猿「見猿聞か猿言わ猿」が有名ですが、これとは逆の「しっかり見て、聞いて、自分の意見を言う」という生き方が大事ではないかと常日頃考えているのですが、なかなか実行が伴っておりません。年頭にあたり今年こそは頑張ろうと決意を新たにしているところです。皆様方の今年の決意は何でしょうか?今年も慌ただしい年となりそうです、目的達成に向かって頑張りましょう。



衆議院議員

あべ 俊子

愛媛県看護連盟の皆さまにおかれましては、清々しい新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

皆さまのおかげをもちまして、昨年は2期にわたり約1年つとめました農林水産副大臣を退任、衆議院議員として4期11年目を迎えることができました。これまでの積み重ねにより国政での発言力は増し、また、責任もますます重くなってきております。

激動する国際情勢、厳しい日本経済、医療・看護をとりまく環境ではございますが、日本の将来を見据え、すべての人が安全かつ安心して生活できる社会保障制度を確立するため、引き続き全力で頑張っている所存です。

そして今年の夏には、高階恵美子先生が2期目を迎えるための参議院選挙が行われます。看護の4つの議席を絶やすことのないよう、看護界一丸となってこの選挙戦を闘ってまいります。

最後にこの一年が皆さまにとって輝かしい年になりますようご祈念申し上げます。



参議院議員

高階 恵美子

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。厚生労働大臣政務官在任中は雇用・労働・年金・子育て分野を主務とし、塩崎大臣の下、過重労働の撲滅、がん対策及び認知症対策の見直し、子育て支援の強化などに取り組みました。

また、厚生労働科学研究費補助金に「女性の健康の包括的支援総合研究事業」が創設され、厚生労働省内に「女性の健康推進室」が新設されました。2015年は、我が国の女性の健康科学が学術・行政面で明確に位置づけられた輝かしい年となりました。さらに政務官検討グループにおいては、「幸齢社会への挑戦 “ハッピープラチナ運動”」を提唱し、必要な施策を来年度予算案に計上しています。

2016年は自民党女性局長として、女性の健康推進、児童虐待防止、防災・復興推進、女性活躍支援、地域が活きる観光振興、国際保健協力強化、女性と児童の権利擁護の7つの政策課題を掲げ、取り組む所存です。

看護系議員であることを誇りに、みなさまと心をひとつに活動して参りますので、引き続き、よろしく願いいたします。



参議院議員

石田 昌宏

愛媛県看護連盟の皆様 明けましておめでとうございます。

平成28年が皆様にとって、輝かしい素晴らしい年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

旧年中は、暖かいご支援を賜りましたことを衷心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、実践的な理解力、高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる「特定行為研修制度」の運用がいよいよ始まりました。責任の重さとともに、看護に対する国民の期待をひしひしと感じる歴史的な前進です。さらに、看護職とナースセンターが離職後も“つながり”を持ち継続的なキャリア支援や迅速な復職支援を可能にする、「看護師免許等の届出制度」もスタートしました。制度の開始により離職の防止も期待されます。

今年も看護の現場に足を運び、国政に伝える努力をしておりますのでよろしくお願い申し上げます。

看護職の代表として活躍しているたかがい恵美子議員とともに、看護連盟の政策を実現すべく、看護連盟の皆様と全力で頑張っております。



衆議院議員

木村 弥生

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。4人目の看護職議員として初当選を果たしてから、早いもので1年が過ぎました。

ここまで駆け抜けて来られましたのも、先輩議員の皆さま方にお育ていただいたからです。たかがい恵美子厚生労働大臣政務官（当時）は、厚労委員会の質問前で緊張している私にアドバイスをくださいました。あべ俊子議員は被災地訪問、石田昌宏議員は少年院や女子刑務所の視察同行にお声掛けくださいました。先輩方のご期待にそえられるよう頑張ります。

第三次安倍内閣が打ち出した「一億総活躍社会」の基本方針には、現役世代が介護を理由に離職することのない社会づくりを進め、生涯現役社会を構築することなどが明記されました。看護職が生き生きと仕事を続けられるような仕組みづくりが加速しています。「働き続けられる職場づくり」などの看護政策実現とともに、日本に生まれたすべての子供たちが健やかに成長していける社会づくりを目指します。本年も、よろしくお願い申し上げます。

支部長 新年の

今年の参議院選挙に向けて南予第一支部はリーダー・若手・支部役員一つになって私たち看護の代表を国政に送るため目標に向かい熱指導で頑張ります。



「やりがい・いきがい・たかがい」 「たかがい 恵美子さん」を応援します。
南予第一支部長
福本 節子

あけましておめでとうございます。

今年は申年、見ざる聞かざる言わざるではなく、しっかり高階恵美子議員の政策活動を見て、聞いて、人に言える事。選挙に関心を持ってくれる会員が増え、今年の参議院選挙に良い成績が残せるよう、取り組むたいと思います。



中予第一支部長
鋪村加代子



新年あけましておめでとうございます。連盟役員としてまだまだ力不足を痛感していますが、会員で力を合わせれば、どんな社会変化にも対応していけると信じ、今後も会員の増員と今の自分たちは何をすべきかを伝えきる活動を展開していきます。

中予第四支部長
坂本 謙二



新春のお慶びを申し上げます。
南予第二支部は、13施設、会員437名で活躍中です。公務員の施設が多く、活動は地味ですが、結果は期待できると確信しています。「やりがい、いきがい、たかがい」を合言葉に、今年も頑張ります。

南予第二支部長
楠 多佳子

皆様、明けましておめでとうございます。一致団結は何にもま「サル」パワーの源、いよいよ一票かけた勝負の時、もっと真剣に活発に「ウキウキ」楽しく成し遂げましょう。みんなで「高階えみこ」さんを応援して目標を達成しましょう。今年も宜しくお願い致します。



中予第二支部長
松本久美子

あけましておめでとうございます。今年選挙の年です。看護職の代表として高階恵美子議員は2期目の挑戦です。必ず国政に送りましょう。

愛媛県1万票獲得・会員投票率100%を目指し「やりがい、いきがい、たかがい」の合言葉で、看護の未来のため役員・リーダーを中心に頑張ります。



会員の皆様も一緒に応援しましょう。
南予第三支部長
村上かなえ

新年おめでとうございます。来る選挙では、私たちが入会をお願いした「高階恵美子後援会」会員に声を掛けて、揃って選挙に行き、愛媛県の目標である1万票獲得に貢献したいと思います。神頼みではなく、実行力で当選を勝ち取りましょう。



中予第三支部長
永江 隆

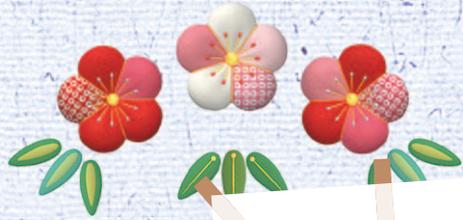
明けましておめでとうございます。今年には私にとって6回目の年女。その年が勝負の年となる。過去3回参院選を闘ってきて、今年が一番合いが入っており、士気も高いと感じる。このままいけば1万票も夢じゃない。ガンバろう！



中予第五支部長
政岡 千種



抱 負



丙申は「実を結ぶ年」とも言われます。支部長2年の若輩者ですが、支部会員ひとり一人の思いを繋ぎ、今年の参議院選挙で結果を結ませたいと思います。今年度もよろしく申し上げます。



中予第六支部長
泉 恵美子

明けましておめでとうございます。2016年、穏やかな新年を迎えましたが、今年は闘いの年、7月の参議院選挙に向けてさらに組織力を高める必要があります。連盟会員の皆様と共に力を合わせていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



今治支部長
曾我部 恵子

明けましておめでとうございます。今年、選挙の年です。西条支部では、基礎研修を確実に実施し、看護協会と看護連盟の関係を理解していただき、参議院選挙の目標数達成に活動しています。皆様一緒に頑張りましょう。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



西条支部長
大仲 道子



今年は私たちの代表を国政に送る勝負の年です。夏の参議院議員選挙に向けて役員・リーダーさんを中心に各施設間の連携をはかり、支部で掲げた目標数を達成するべく組織力を強化していきたいと思っております。



中予第七支部長
西岡 愛弓

明けましておめでとうございます。今年、新居浜第一支部として初めての選挙の年です。たかがい恵美子氏の2期目当選に向け、新居浜以東の看護職の結束力を得票数に結び付けられるよう細かな活動をしていきたいと思っております。



新居浜第一支部長
八木 やよい



皆様のお力添えで中予第8支部が誕生し約半年余りが経ちました。今年の参議院選挙に向け支部メンバーが一致団結し、得票予定数の確保を目指します。また、チームワーク力を強化し活発な活動ができるよう発信していきたいと思っております。



中予第八支部長
川本かよ子

今年は選挙権年齢が「満18歳以上」に引き下げられます。教育支部では、臨床や教育現場の方だけでなく、看護学生の方も対象にした研修会を6月25日に予定しています。多くのご参加をお待ちしています。



看護教育支部長
辻 好美

明けましておめでとうございます。今年、看護連盟会員一人ひとりが自覚を持ち、看護職の力を結集しましょう。「1万票」獲得に向け、持てる力を最大限に発揮し頑張りましょう。どうぞよろしくお願いいたします。



新居浜第二支部長
曾我 敏子



人を大切にする社会、働くことを楽しいと思える社会、明日に希望が持てる社会づくり

やいがい、いきがい、たかがい！～成熟社会を創る看護力～

たかがい 恵美子の活動報告

Vol.27-12 平成 27 年 12 月 31 日発行

参議院議員 高階恵美子事務所
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館714号室
TEL 03-6550-0714 FAX 03-6551-0714
http://www.takagai-emiko.net

食育を推進します(栄養教諭既成会の田中信名誉会長と)



平成 17 年に法制化された栄養教諭は、栄養士と教員の資格をもち、学校で児童生徒の栄養指導及び管理を担っています。現在までに全国で 5356 校に配置されていますが、一校一名完全配置を目指し、これからもとにもがんばります。

女性局(部)支部での研修を活発に

女性局(部)の会議や研修が各地で活発に開催されています。今月は島根県、沖縄県宜野湾市、北海道・東北ブロック(福島県)、石川県南加賀地域支部(小松市)の研修会議に参加した他、本部では三重県女性部



中央研修が行われました。各地の実情をお伺いすることで、地域特性に合う法制度づくりへのアイデアも湧いてきます。これからも丁寧に意見交換をさせていただきます。



たかがい塾‘災害看護学とは’



文部科学省が推奨するグローバルリーダー養成プログラムの災害看護学を研究する大学院生達と学びました。災害とは何か・災害看護学とは何か、千差万別の現場における専門家としての立ち位置・ノウハウ集積・科学的知見へと昇華するプロセスなど議論は尽きず、これから取り組むべき課題がたくさんあることを改めて確認した機会でした。

若きリーダーたちとふれあう毎に、看護の未来は輝いていると感じます。

施設を訪ねて声を聞く、ひとり一人の努力と思いやりを大切に

専門職としての夢を抱いて現場へ出ても、専門職らしい誇りを身につけるには険しい現実が待っています。自分自身の努力はもとより、周囲の方々の理解と見守り・温かい支えがあって初めて、私たちはいのちの臨床に立つことの厳しさ・尊さを学んでいくようにも思います。これからは、社会保障の実現者である担い手ひとり一人が大切にされる労働環境を整えていくことが、ますます重要になると考えています。



◀◀◀ 研 修 会 報 告 ▶▶▶

▶中予支部会員研修会

出席者 97名

日時 10月10日(土) 13:30~15:30
会場 愛媛県看護協会看護研修センター

テーマ 「政治活動と選挙運動の違い ~選挙違反をしないために~」
講師 愛媛県議会議員 三宅浩正先生

▶東予合同会員研修会

出席者 88名

日時 11月7日(土) 13:30~15:30
会場 リーガロイヤルホテル新居浜

テーマ 「災害時の看護師の役割 ~これまでの活動をとおして~」
講師 西条中央病院 趙由紀美先生

▶南予合同会員研修会

出席者 59名

日時 11月8日(日) 10:00~12:00
会場 宇和島市総合福祉センター

テーマ 「ちょっと笑っていきませんか? ~らくさぶろうさんと集う~」
講師 らくさぶろう先生

▶東予合同看護管理者研修会

出席者 81名

日時 12月5日(土) 13:30~15:00
会場 リーガロイヤルホテル新居浜

テーマ 「看護と政策 ~看護管理者としての役割~」
講師 愛媛県看護連盟会長 吉田昭枝先生

第9回 全国ポリナビワークショップ in 広島に参加して

一般財団法人永頼会 松山市民病院 小松 忠

11月7日に全国から、大勢の連盟青年部の会員が集い、「語ろうや看護の未来はうちらが作るんじゃけん！」のテーマで、グランヴィア広島に於いて、盛大に開催されました。

NPO法人 YouthCreate 代表原田謙介氏「若者が社会をつくる」の講演では、若者が集まれる場や議員と意見を交わせる場の提供を行い、若者と政治を繋ぐ活動をしている紹介がありました。「社会を創り、担う新しい力」として、若者が政治活動に興味をもち社会を良くする動きの主役は、若者自身である事を痛感しました。青年部の活動報告では、中・四国地区ポリナビ開催の準備やボランティア活動等の地域に密着した活動を通して、多くの方に看護連盟を知ってもらった活動報告がありました。また、各施設で多忙な中でも時間調整を工夫しながら、生き生きと連盟活動を行っているVTRを見て、自分も各施設の会員と志を一つにして「楽しく元気に」連盟活動を行っていききたいと思います。

参議院議員たかがい恵美子氏の「看護と政治」では、厚生労働大臣政務官として、看護師の労働環境

実態調査を実施し、看護師の健康状態が疲弊している現状に対し働く環境を改善する政策取り組みや看護師国家試験の追加実施、社会保障制度の取り組み等の報告がありました。政治活動の生の声を聞き、より政治を身近に感じると共に、看護師の代表者が政界で活動する事の重要性を実感しました。

交流会では、青年部のポリナビ自慢やお国自慢等の紹介があり、連盟の団結力と満ちあふれるパワーを選挙活動に繋げたいと思いました。

今回、参加させていただいた事で、看護師がやりがいを持ち仕事を継続する為に、たかがい議員を次期選挙で勝てるように、全力で頑張っていこうと思いました。



中予合同会員研修に参加して

松山赤十字看護専門学校 辻 好美

11月28日に河原医療大学校で2回目が行われた中予支部主催の会員研修「発達障害等と見受けられる学生・看護師への理解と関わり方」に参加しました。

空気が読めなかったり、段取りが悪く忘れ物やミスを繰り返したりする学生やスタッフに対し、どう指導すればよいのか悩んだ経験のある方は多いと思います。

研修を受けて、まず、その人自身も困っていることを理解することが重要であると学びました。発達障害を思わせる特徴とその対応について正しい知識を持ち、「できない」と決めつけず、どうしたらできるかを一緒に考えたり工夫したりすることで、その人の持つ能力を活かすことができます。指導に携わるときに、是非心に留めておきたいと思いました。

また、講義の中で、自閉症スペクトラムやADHDの特徴がたくさん示されていました。程度の差こそあれ、誰もがその特徴にいくつか当てはまるので

はないかと思いました。発達障害の有無に限らず、具体的にわかりやすく伝える努力をしたり改善策を提示したりすることで、皆が学びやすい学校、働きやすい職場になると思います。

生産年齢人口の減少が問題になる中、せっかく看護の道を志してくれた方が道半ばであきらめることが少なくなるよう、看護師ライセンスを取った方が働き続けられるよう、環境を整えていくことが大切だと思いました。

研修で学んだことを、今後活かしていきたいです。



ちよっといい話

第3回 常に患者本位を貫いているか？

医療法人ゆうの森 理事長 永井 康徳

「患者さんのことを考えて仕事を行っているか？」と問われたら、多くの人は医療者なのだからそんなことは当たり前だと答えるだろう。

しかし、本当にそうだろうか？たとえば、業務が非常に忙しい時期に、追加で訪問回数を増やして欲しいと患者や家族が希望したら、その意向どおりにサービスを入れることができるだろうか？

残念ながら、「業務がいっぱいで人員が足りないので、希望のサービスを入れることはできない」といった返答が返ってくることが多い。業務がいっぱいだからと、患者や家族が必要とするサービスを、簡単に「入れることはできない」と断っていいものだろうか？

在宅医療は、入院中のように医療者が24時間そばにいないからこそ、患者の不安を取り除くことが大切である。業務が忙しい時期であっても、ただ断る



のではなく、他の業務やサービスを調整したり、介護保険や医療保険の制度を活用して、2か所、3か所目の訪問介護ステーションに入ってもらったり、他職種に協力をお願いするといった代替サービスを提案するなど、さまざまなアイデアを出して工夫することが大切なのである。

「こんなに忙しい時に、さらにサービスを増やしたら、みんなが嫌がるから」と内部の同僚を気遣うのではなく、「患者にとって良いことは何なのか」と常に患者本位を貫いた仕事を行いたいものだ。

患者にどう向き合っていくのか、どのように対応すべきなのかを常に確認し、職員全体で理念を統一して、常に同じ方向を向いて仕事をするためにも、全職員参加のミーティングは非常に有用である。

お知らせ

広報誌名称の募集

平成17年10月第59号より公募して選ばれ「連盟通信えひめ」の名称を10年間活用させていただきました。このたび、100号の記念号に合わせて名称リニューアルいたします。採用させていただいた方には、賞品をご用意していますので、ふるってご応募ください。

他県名称例

新潟県＝雪つばき

東京都＝東京れんめい

島根県＝ツーハート

福岡県＝あい&あい

広島県＝一粒のちから

など

【送り先】愛媛県看護連盟事務局

〒790-0843 松山市道後町2丁目11-14

ファックス：089-924-1598

メールアドレス：info@ehimekangoren.jp

新しい名称と命名に対する思い、所属施設名、お名前を書いて、はがき、ファックス、メールにてご応募ください。お待ちしております。（締め切り：平成28年3月18日金）

編集後記

あけましておめでとうございます。皆様のご協力のもと、昨年連盟支部を16支部に増やすことができました。今年看護職にとって勝負の年です。参議院選挙に向けて、一致団結してがんばりましょう。